

平成27年10月臨時会提案説明

議員の皆様方には、御多忙のところ、臨時議会に御参集いただき、厚くお礼を申し上げます。

ただいま上程いただきました平成26年度各会計の決算認定につきまして、その概要を御説明申し上げます。

まず、一般会計の歳入でございますが、市税は、市民税の減少などにより、前年度比約4億5,700万円の減少、地方交付税は、約1億8,900万円の増加となっております。

その他、地方消費税交付金が、前年度比約2億9,700万円の増加、国庫支出金が、約7億1,900万円の増加、繰越金が、約7億300万円の増加、諸収入が、約13億8,000万円の減少、市債が、約16億8,400万円の増加となるなど、歳入の決算額は、前年度と比較して、約11億5,300万円の増加となりました。

一方、一般会計の歳出の決算額は、前年度と比較して、約12億1,200万円の増加となりました。

おも

続きまして、平成26年度に実施しました主な事業でございますが、向島中央小学校、因島南小学校の建設事業や、消防救急無線デジタル化事業、クロスロードみつぎ整備事業のほか、「瀬戸内しまのわ2014」と、その関連事業の開催に取り組んでまいりました。

このほか、総務関係では、防災対策として、南海トラフ巨大地震等の大規模災害を想定し、新たに、災害時の危険を一時的に回避するための、「緊急避難場所」の指定を行ったほか、防災士の資格取得への助成や、自主防災会等に防災資機材の購入費への補助を行い、地域防災力の強化を図りました。

また、中国横断自動車道尾道松江線の全線供用開始に向け、「中国やまなみ街道沿線地域利用促進協議会」を立ち上げ、沿線地域の活性化に向けた利用促進活動に取り組む体制づくりを行いました。

さらに、総合計画の後期基本計画の中間年を迎え、フォローアップのための市民満足度調査や、尾道の魅力を国内外に伝えて、地域の活性化につなげるための若者を中心としたワークショップ等を行う政策形成事業を実施いたしました。

そのほか、尾道市立大学につきましては、キャンパス計画に基づき、A棟・B棟の解体撤去を行いました。

また、庁舎整備では、本庁舎の建設に向けて敷地内の地質調査等を実施するとともに、レイアウト検討業務に着手したほか、公募型プロポーザル方式により、設計者の選定を行いました。

次に、社会福祉関係では、消費税引き上げによる影響を緩和するため、臨時福祉給付金給付事業と、子育て世帯臨時特例給付金給付事業に取り組みまし

た。

また、障害者施策の一層の推進を図るため、「障害福祉計画」を更新しました。

さらに、「高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」を更新するとともに、いきいきサロントイレ美化事業に取り組みました。

児童福祉関係では、平成27年度から始まる新制度に対応するため、子ども・子育て支援事業計画を策定いたしました。

また、新たに、みつぎ子育て支援センターを開設し、因島南放課後児童クラブ、因島南認定こども園を整備するとともに、民間事業者が実施する友愛保育園整備事業などに助成したほか、家庭保育園の認可化に取り組み、1施設の保育所認可と、1事業者の事業所内保育事業の認可を行いました。

災害救助の関係では、毛布、アルファ米等の備蓄品を購入し、市内13か所に分散して備蓄するなど、防災体制の強化を図りました。

また、保健衛生関係では、予防接種事業において、10月より定期予防接種に移行した、水痘と高齢者肺炎球菌の予防接種について、新たに取り組んだところでございます。

塵芥処理場の整備に向けての取り組みでは、尾道市クリーンセンターについては、長寿命化計画の策定などに取り組み、因瀬クリーンセンターについては、基幹的設備改良工事に向けて、発注仕様書の作成業務を行いました。

また、新たな雇用・就業機会の創出のため、広島県緊急雇用対策基金事業を活用して、就業体験事業など5事業を実施し、29人の新規雇用を確保したところでございます。

農業振興では、営農の「自立化・組織化」、「経営の高度化」を目指して、「おのみち「農」の担い手総合支援事業」に取り組み、新たに4名が認定農業者となるなど、担い手づくり対策として、一定の成果を上げております。

また、集落・地域が抱える「人と農地の問題解決」のため、人・農地プランを作成し、そのプランの中心となる新規就農者に給付金を給付いたしました。

そのほか、ため池99か所の耐震性について、点検・調査、診断を実施したところでございます。

水産振興では、地魚の店をPR・情報提供することで、地魚の消費拡大を図ることなどを目的に、新たに「尾道季節の地魚の店」として、38店舗を認定いたしました。

次に、商工業振興では、企業誘致活動や工場等設置奨励金の交付のほか、中小企業への金融支援事業に取り組むとともに、新規創業に係る資金の利子補給などを行ったところでございます。

また、住吉浜上屋の2階を、サテライトオフィスとして整備する事業への助成を行ったほか、因島重井地区の企業の光回線導入事業への助成を行いました。

観光振興では、県外で尾道の観光PRをしていただける方を「尾道観光大志」として任命する事業や、尾道の夜間景観基本構想策定事業に取り組みました。

また、サイクリストの利便性向上のため、尾道・今治間を運行する自転車搭載可能なバスの購入費用の助成や、台湾などからのサイクリング観光客の来訪促進を図るための事業などを実施いたしました。

さらに、因島水軍城の周辺への物見やぐら設置事業を行うとともに、瀬戸田

地区の観光資源間の回遊性を高めるための、歩行者ネットワーク整備事業への取り組みが完了したところでございます。

また、千光寺山索道事業につきましては、指定管理制度を導入するとともに、安全な運行のために老朽化した設備の更新に取り組みました。

次に、道路関係では、修繕・舗装工事などを 99 か所、新設改良事業を 68 か所で実施するとともに、道路ストック事業で、道路、トンネル等の性状調査及び、橋りょうの点検に取り組みました。

また、橋りょうの長寿命化修繕計画に基づき、7 か所の修繕工事と、6 か所の詳細調査・設計を実施したところでございます。

さらに、「歴史的風致維持向上計画」に基づき、道路美装化や、多国語音声設備設置などを実施するとともに、老朽危険建物の除却や、まちなみ形成事業などへの補助を行ってまいりました。

浸水対策では、塩浜ポンプ場や、浜ポンプ場などの更新工事を行ったほか、公共下水道事業において、高西東新涯ポンプ場の整備に着手いたしました。

また、ポートターミナル周辺等への新たな魅力を創出するため、尾道水道クルーズなどに取り組みをいたしました。

離島振興では、百島と本土を結ぶ「常石・尾道航路」を将来にわたって維持存続するため、公設民営方式により船舶を建造したほか、渡船事業において、細島航路の船舶建造のための基本計画書を作成いたしました。

消防関係では、三原市との消防通信指令業務の共同運用を開始しました。

また、高規格救急自動車などの更新を行うとともに、防火水槽 1 基、消防団器具庫 2 棟の整備など、消防施設等の充実強化を図ったところでございます。

さらに、因島消防署建設事業につきましては、敷地造成工事が完了し、庁舎建設工事に着手いたしました。

次に、教育関係では、「尾道教育みらいプラン」につきましては、学力向上対策事業、読書活動を推進する事業、不登校への対応を充実する事業、特色ある教育研究を推進する事業、外国語教育を充実する事業を重点に、取り組みを進めてまいりました。

また、児童に適正な規模の教育環境を提供するため、土生小学校、三庄小学校、田熊小学校を、平成 27 年 3 月 31 日をもって閉校とし、新設の因島南小学校へ統合したところでございます。

学校施設整備では、先に申しあげた、向島中央小学校、因島南小学校のほか、高須小学校校舎増築事業に取り組むとともに、小中学校の耐震改修工事などを実施したところでございます。

中学校給食につきましては、平成 27 年 3 月から 3 校で、デリバリー方式の給食の提供を開始いたしました。

また、尾道ゆかりの文化人記念事業として、小林和作の、没後 40 年記念事業を実施いたしました。

スポーツ施設の整備では、御調ソフトボール球場や瀬戸田中学校テニスコー

トの整備などに取り組みました。

また、瀬戸田サンセットビーチにつきましては、瀬戸内の自然と調和した、1年を通して楽しめる施設として、平成26年7月にリニューアルオープンしたところでございます。

続きまして、平成26年度の本市の財政状況についてでございますが、経常収支比率は、前年度比2.2ポイント増の、93.4%となっております。

また、実質公債費比率は、前年度比0.6ポイント改善し、8.4%に、将来負担比率は、8.4ポイント改善し、50.2%となっております。

大規模事業に取り組んだことにより、合併後、初めて市債残高が増加したものの、将来に備えるための基金の残高も、同程度増加しており、財政のバランスに配慮しながら、堅実な財政運営に努めて来たところでございます。

今後の本市の財政運営につきましては、引き続き、総合計画、新市建設計画、行財政改革大綱などに基づき、財政運営見通しを立てた上で、事業の優先順位付けを行うなど、事業の見直しを行い、また、経費の節減に努めることなどにより、財政の健全性を保ちながら、必要な事業を着実に執行してまいります。

また、主要な施策につきましては、お手元にお配りしております「平成26年度主要な施策の成果」で御報告申し上げているとおりでございます。

決算の内容につきましては、担当部長より、説明をさせますので、よろしく御審議の上、御認定を賜りますようお願い申し上げ、総体的な説明とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

※本文は、口述筆記ではありませんので、表現などについて、実際の説明と若干異なることがあります。